

NEWS LETTER KUMAMOTO

2016. Autumn Vol. 111

■発行:一般財団法人 熊本市国際交流振興事業団
 〒860-0806 熊本市中央区花畑町 4-18 熊本市国際交流会館
 ■Publisher: Kumamoto International Foundation
 4-18 hanabata-cho, chuouku, kumamoto city, 860-0806
 TEL:096-359-2121/ FAX:096-359-5783
 e-mail: pj-info@kumamoto-if.or.jp URL:http://www.kumamoto-if.or.jp/



平成28年度 夏目漱石記念年国際交流事業

ロンドンの漱石探訪ツアー 報告



はじめに

2016年は日本の近代文学史を代表する文豪夏目漱石（1867～1916）の没100年と来熊120年、2017年は生誕150年の記念年となる。漱石が4年間を過ごし、「草枕」「二百十日」など作品の舞台となり、縁の地が多くある熊本では、産官学が連携し様々な漱石記念年関連事業が計画される。夏目漱石・記念年実行委員会のホームページ（URL: <http://soseki.a.la9.jp>）では熊本の他、松山、和歌山、東京など全国で広く開催されるスケジュールを知ることができる。

当事業団では、国際という視点から漱石を顕彰する「ロンドンの漱石探訪ツアー」（9月3日～9日）、在住外国人を対象にした「漱石の草枕 1日バスツアー」（10月30日）、「多様な言語に翻訳された漱石作品展」（11月15日～20日）、セミナー「海外という視点で考える漱石」（11月19日）を計画・

実施する。本号では「ロンドンの漱石探訪ツアー」について報告する。

ツアー概要

ツアー参加者は大学生4名を含む17名、当事業団理事長吉丸良治（熊本県文化協会長）を団長として、9月3日（土）に福岡国際空港を出発、韓国仁川国際空港を経由し、英国ヒースロー国際空港へ同日夕暮れに到着した。（約12時間のフライト..）入国手続きは長蛇の列で2時間程待たされたが、ハイストリート・ケンジントンの宿泊ホテルに着くと、今回ご案内をいただく当事業団理事でもある恒松郁生 ロンドン漱石記念館長（崇城大学教授）のお出迎えに笑顔が浮かび、翌4日から始まる漱石探訪ツアーに向け期待に満ちた緊張が走った。

≪特集≫

平成28年度 夏目漱石記念年国際交流事業
 ロンドンの漱石探訪ツアー報告・・・P1～P2
 ちょっといわせてははいよ・・・P3
 ・熊本大学留学生会（KUMISA）会長
 リチャード メリベさん
 はじめまして！熊本！
 新国際交流員からのメッセージ・・・P4
 中国:王 鶴凌さん、韓国:李 英洙さん

目次

Contents

はじめまして！熊本②
 /link カフェ商品紹介・・・P6
 アメリカ:ジェレミー・シジエ・サンドバル・チェンさん
 世界を知る～It know the world～・・・P7
 ・「環境に変化を求めて」
 青年海外協力隊 OG 西井 千恵さん
 ちょっと日本語/きふプロ
 平成28年度賛助会員・・・P8

漱石探訪プログラム

1日目 - 4日(日)

漱石5番目の下宿の真向かいに位置する漱石記念館で、漱石が過ごしたピクトリア朝末のロンドンの様子と漱石の軌跡について講義を受けた際には、当時のロンドン塔、タワーブリッジやピカデリーサーカスの人混みの写真パネル、そして国勢調査に残された漱石の筆跡の写し等々、貴重で莫大な資料に圧倒された。漱石が暮らしたロンドンの下町クラバム・コモンを散策すると、歴史を感じさせる赤い郵便ポスト、落ち着いた英国庭園に出逢い、ここで暮らした著名人のパネルに実用電話を発明したグラハム・ベル(1847~1922)らと共に漱石が「こころ」「坊ちゃん」「吾輩は猫である」を書いた最も有名な日本人作家として掲示されていたことに驚いた。

午後からは、漱石が訪れ入館記録の自署が残るカーライル博物館と大英博物館を訪問した。歴史家・評論家カーライル(1795~1881)は、self-help(自助)、



ロンドン漱石記念館内での恒松先生の講義風景

dynamism(劇的な変化)等々500以上の現在も

広く使用される言葉を創り出したことで有名である。博物館はチェルシー地区の静かな住宅街にあり、中庭では馴れたコマドリが出迎え、気さくな館のスタッフの方々に親切、丁寧に説明、帰りは川縁の公園のカーライルの銅像のところまでお見送りしていただいた。

2日目 - 5日(月)

ツアー中、唯一雨模様となった朝はロンドン塔とタワーブリッジを見学、これも「霧のロンドン」を体験でき幸運だったと言える。その後、車でケンブリッジ大学街を訪れた。(片道1時間半程の所要時間)運河が流れる石畳の街並みは、写真で見ると中世ヨーロッパが目前に広がり、大学の



タワーブリッジを背景に

建物は教室というより宮殿そのものであった。キャンパスの池では水鳥がたわむれ、荘厳な雰囲気、聖堂内のステンドグラスやパイプオルガンが今も目に焼き付いている。多くの若い中国からの観光客が目立った。彼らは、ケンブリッジのキング・カレッジへ留学し、不幸にも飛行機事故で亡くなった詩人徐志摩(1897~1931)を顕彰、石碑で記念撮影する姿に、母国文化を大切に思う気持ちは、何処でも変わりがないと感じた。

3日目 - 6日(火)

午前中、ダリッジ美術館を訪問した。1902年2月1日、漱石が訪問した際の署名が来館者名簿に鮮明に残っていた。漱石が「文学論」で触れたサラ・シドンス夫人の肖像

画が展示されている。恒松ロンドン漱石記念館長が同美術館に毎日通い詰め2004年に発見し、漱石の軌跡を知る大きな手がかりとなった。

午後は、本ツアーならではの「印象」に描かれた情景を徒歩で散策した。漱石が聴講生となったロンドン大学のユニバーシティ・カレッジ・ロンドンでは、当日卒業式が行われており、キャンパス内に入ることができた。アカデミックガウンに身を包んだ多くの学生と1860年代に日本から留学した先駆者を称える日本語で書かれた記念碑を見ることができたことは幸運でした。



漱石の自署が残るダリッジ美術館

金銭的情况から大学への入学より、できるだけ多くの書籍を購入し読書することを選んだ漱石が通ったであろう古本屋街を訪れた。漱石が普段歩いたチャリングクロス、トラファルガー広場などを散策しながら、レンガ造りの集合住宅と近代建築が織りなす中世からの歴史と近未来が調和したロンドンの街並を肌で感じる事ができた。

4日目 - 7日(水)

7日(水)は、大学生参加者は、フェアトレード大学に認定されるシティ・ユニバーシティ・ロンドンを訪問し、直接学生同士の交流を行った。未来に向け持続可能な都市をめざし、学生が主体的に、大学教員、大学生協スタッフを巻き込んだ参加型の取り組みは、先駆的で今後の日本での大学生ボランティア活動の推進や益々必要となる青年期教育に対し多くの示唆を含んでいる。(他の参加者はウィンザー城観光)夜は、英国の貴族、著名人、政治家など上級階級のステータス・社交場である紳士クラブで振り返り交流会を行った。漱石がロンドンで学ばなかった階層社会である。(当事業団では、11月19日(土)に開催するセミナー「海外という視点で考える漱石」で、恒松ロンドン漱石記念館長に「漱石がロンドンで見たこと、学ばなかったこと」をテーマに基調講演いただく予定。

漱石とロンドン

今回のツアーをとおして、熊本から旅立ち、漱石が二年ニヶ月を過ごしたロンドンを肌で感じる事ができた。「文学論」で、「倫敦に住み暮らしたる二年は尤も不愉快な二年なり。余は英国紳士の間にあつて狼群に伍する一匹のむく犬の如く、あはれなる生活を営みたり」と書いているが、別な活発、精力的に活動した漱石を垣間見ることができた。一方、大柄な英国人、多様な英語の発音、そして金銭面等々多くの苦労があった。恒松ロンドン漱石記念館長が著書「漱石 個人主義へ -ロンドンでの“つぶやき”と“つながり”-」に書かれているように、漱石が「利己主義やエゴイズムとは明らかに異なる他の存在を尊重すると同時に、自分の存在も尊重する」考えを学び、その後日本の学生に伝えていく、人生の中で、かけがえのない時であったと思う。そして、漱石の個人主義は、今のグローバル化が進展する社会で最も重要な考え方であろう。

KUMISAってなに？

熊本大学留学生会(KUMISA) 会長 Richard Meribe(リチャード メリベ)さん
熊本大学大学院 自然科学研究科 博士課程 2年(出身国:ナイジェリア)

《KUMISAの概略》

KUMISA(クミサ)とは、熊本大学で学んでいる留学生の団体で、Kumamoto University International Students Associationを省略し名付けられました。KUMISAは、熊本大学内だけではなく、熊本市、ひいては日本全体の国際化を見据えて活動しています。KUMISAは2015年3月に熊本大学の留学生グループによって設立され、一般財団法人熊本国際交流振興事業団(KIF)や大学コンソーシアム熊本と協力関係を持っています。私たちは社会奉仕活動も行っており、毎年江津湖の清掃活動に参加しています。



清掃活動の様子
(写真1番左側がリチャードさん)

《KUMISAの活動》

毎年開催の国際交流イベント「クミフェス」は、2016年1月に第一回目が行われ、たくさんの方々にご来場いただきました。このイベントはショー形式による国際交流の祭典であり、熊本大学の学生及び一般の方に異なる



クミフェス2016での様子①

国籍や文化を紹介するものです。クミフェス2017は、2017年1月28日に開催を予定しております。

KUMISAは、学内で留学生と日本人学生との文化的差異のかけ橋となること



クミフェス2016での様子②

が、日本を21世紀の社会的課題に対応しうる国へ生まれ変わらせる鍵となると信じています。

《KUMISAと熊本地震》

ここ熊本に暮らす外国人として特に深く考えさせられたのは、2016年熊本地震の時でした。私たちは皆、何とかしてお互いに助け合い、心を癒したいと、力強く立ち上がりました。KUMISAは熊本大学の留学生コミュニティに対して、有益な情報を迅速に提供したり、この



KUMISAの仲間たち

大変な困難にどのように対処したら良いのか様々なアドバイスを行ったりしました。これに際して、KIFより救援物資の提供や、様々な支援をいただきました。このお陰で地震後の混乱にも関わらず、留学生たちへの物資の配達などを行うことができました、大変感謝しております。

《KUMISAと熊本》

熊本は、私たちKUMISAや様々な留学生コミュニティにとって素晴らしい場所です。私たちの活動に対する、熊本市国際交流振興事業団及び大学コンソーシアム熊本の温かい支援に大変感謝しております。

熊本県内の留学生情報

(平成28年5月1日現在)

《大学別》		《地域別》	
熊本大学:	496名	アジア:	605名
熊本県立大学:	12名	中東:	19名
熊本学園大学:	39名	オセアニア:	5名
東海大学:		北米:	3名
九州キャンパス:	17名	中南米:	4名
崇城大学:	98名	アフリカ:	28名
尚絅大学:		ヨーロッパ:	20名
尚絅大学短期大学部:	3名		
九州ルーテル学院大学:	1名		
中九州短期大学:	5名		
熊本高等専門学校:			
熊本キャンパス:	5名		
八代キャンパス:	9名		
	計 685名		

(情報)
熊本留学生交流推進会議

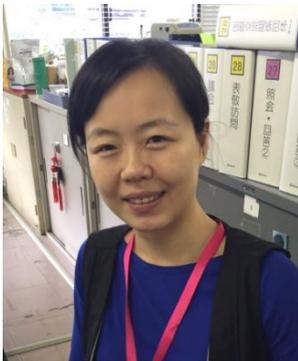
はじめまして！熊本！

新国際交流員(CIR)
からのメッセージ

今年4月から中国国際交流員として熊本市役所へ着任された王鶴凌(オウ・カクリョウ)さん、同じく今年4月から韓国国際交流員として熊本市役所へ着任された李英洙(イ・ヨンス)さん、そして今年8月から米国国際交流員として熊本市役所へ着任されたジェレミー・シジエ・サンドバル・チェンさんそれぞれからメッセージをご寄稿いただきました。

中国国際交流員 (CIR)

王 鶴凌(オウ・カクリョウ)さん



初めまして、私は、王鶴凌(オウ・カクリョウ)と申します。

中国四川省成都市から参りました。

2008年から2010年にかけて、鹿児島県薩摩川内市に滞在したことが

ある私ですが、九州とご縁があって、2回目の海外暮らしも九州になりました。

大学を卒業してから、工場、商社、区役所などで積み重ねてきた勤務経験を、CIRとして、少しでも活かすことができればいいと思います。これからの学校訪問や規模の大きい国際会議の参加を楽しみにしています。

熊本市役所では、中国語の翻訳や通訳が主な仕事ですが、国際交流会館では「中国語サロン」や「世界を知ろうサロン」、「中国相談」等毎月定期的に行われるサロンや相談日に皆さんと触れ合うまたはお話できる機会があるかと思います。よろしく願い致します。

四川省といえば、「辛い料理」や「パンダ」といったイメージですが、中国南西部に位置する四川省は、チベット高原に接する少数民族の多い省として、多種多様な人文資源と豊かな観光資源に恵まれて、国内外の観光客から注目されています。「九寨溝・黄龍」、「峨眉山・樂山大仏」を始めとして、7箇所の世界遺産と、4000箇所ほどの観光地が自慢です。

熊本は、水と森の都で、四川省と同じ素晴らしい景色と多くの文化財を持つ所です。熊本の皆さんから熊本や日本の文化を教えていただければ、幸いです。

韓国国際交流員 (CIR)

李 英洙(イ・ヨンス)さん



皆さん、アンニョンハセヨ！
私は今年の4月から熊本市役所の国際課で韓国国際交流員として働いている李英洙(イ・ヨンス)と申します。

主な仕事は韓国語の通訳や翻訳、友好協力都市の蔚山広域市に関わる交流業務などで、国際交流会館では毎月行われ

る「韓国文化サロン」、「韓国相談」をはじめ、多文化サロンを通じて皆さんにお会いしています。

日本の多くの地域の中でも、熊本市で、日本と韓国を繋げる国際交流員として活動ができる機会に恵まれ、とても嬉しく思います。未だにミスだらけの駆け出しの交流員ですが、まるでずっと熊本で暮らしてきたような親しみを感じながら毎日がんばっています。

熊本には2011年の秋、旅行で来たことがあったんですけれども、5年後、国際交流員としてこちらで生活をするなんてその当時は想像すら出来なかったです。着任した次の日の地震で大変なこともありましたが、日本社会について早いスピードで理解する貴重な体験となりました。熊本市の住民になって、後からのんびり行って見たかった熊本城とその周りの緑豊かな散歩に適した道は、しばらくの間は行けなくなってしまい、残念ですが、5月から再開されたサロンを通じて皆さんに触れ合うことができ何よりです。

私は韓国第一の港町、釜山出身で、大学では日本語を勉強し、長い間職場で働いてきました。偶然参加した日韓交流会での出会いがきっかけとなり、大阪のワーキングホリデーまで繋がりましたし、その1年間の韓国語指導の活動を通じて大切な絆を結んで来ました。そして、国際交流員の夢を持つようになりました。交流の現場で地域と人の為に関与できる役割こそ、価値のある魅力的な仕事だと思ったのです。その夢が叶い、私は2016年、熊本で皆さんにお会いすることができました！「継続は力なり」という motto が私をここまで導いてくれたように、これからもずっと皆さんと韓国の絆を結ぶためにがんばって行きたいと思います。そして、皆さんとの出会いは、私にとっては日本の人と文化を理解できる大切な時間でもあります。

隣の国、韓国についてなんでも気軽に私まで聞いてください。熊本市には皆さんの心強い韓国の友達がいます！

米国際交流員 (CIR)
ジェレミー・シジエ・サンドバル・チェンさん



私は Jeremy Shih-Chieh Sandoval Chen (ジェレミー・シジエ・サンドバル・チェン) と申します。フルネームが結構長いので、ジェレミーと呼んでいただいても構いません。熊本市の国際課で米国際交流員として働いて

います。主な仕事は英語の翻訳と通訳で、毎週金曜日に熊本市国際交流会館で米国相談の対応や、「英語サロン」の開催、他の国際交流員たちと一緒に異文化を紹介する「外国を知ろうサロン」と子ども対象の「つきいち世界を知ろうサロン」も行っています。

アメリカの名付の習慣で、私の名前はこんなに長くなってしまったのですが、このお陰でアジア系アメリカ人は自分の名前でも自分のルーツをちゃんと覚えることができます。例えば私の場合、アメリカ生まれなので私の両親が英語の名前の Jeremy を付け、名字のチェンは父の名字です。サンドバルはフィリピン人の母の名字で、シジエは台湾の祖母が付けてくれた台湾式の名前です。自分の名前に大きな誇りを持っています。

私は、生まれも育ちもネバダ州ラスベガスですが、アメリカでもとても珍しがられます。未だアメリカ人からもよく聞かれるのは「カジノの中で育ったのか」とか「子供の頃からギャンブルしてきたのか」等ですが、残念ながらラスベガスの人も結構普通の人です。ラスベガスはアメリカ最大のギャンブルとキャバレーの都ですし、Sin City の悪名もあって、確かに子供にはあまりよくないイメージがありますが、ラスベガスの子供達も普通と変わりません。

高校を卒業してからボストンのタフツ大学に入学し、4年間タフツ大学の有名な国際関係部でアメリカと東アジアの軍隊関係について勉強してきました。その間に趣味で日本語の勉強も始めました。最初は日本で仕事をすることになるなんて思いもしませんでした。こうして縁あって日本に来ることになりました。せっかく日本語を勉強してきたのだから留学してみよう！インターンシップが良い経験だったから、今度は似たような分野の仕事を探してみよう！新卒で独身だし、海外で冒険してみよう！こんな風に思って、結果としてJET プログラムに応募し、国際交流員になりました。

大学を卒業したばかりなのでまだ経験が少ないですが、熊本市で頑張ってアメリカへの理解と英語圏との国際交流を推進したいと思っています。皆さんとお互いの文化理解を深め、仲良くなっていきたいです！

Let's do this!



スタッフおすすめ商品紹介

『チョコレートパウンドケーキ』
玉名にある人気洋菓子店ロゾーブルー
そのオーナーであり、日本一にも輝いた事のある、超一流のパティシエが手掛けるチョコレートパウンドケーキは、高品質のフェアトレード純生ココアも使用していて、上品な味わいとしっとりとした舌触りに、たっぷりのチョコレート感。
一度食べたらファンになる事間違いなし！
link café の為だけに作られた、link café でしか食べられないパウンドケーキ。
特別なデザートでティータイムを楽しみませんか？
お土産用もご用意しております。



単品	330 円
ケーキセット	630 円

※セットドリンクの中から好きなドリンクをお選びください。

インフォメーション

link café でイベント開催します！

- ①『毛糸の可愛いポンポン人形作り』
今人気のポンポン人形を手軽に楽しみながら作りませんか？
場所：link café
日時：12月3日(土)
午前10時半から正午
参加費：500円
 - ②『空き瓶でスノードーム作り』
去年大好評だったスノードーム作り、今年もやります！
空き瓶を使って簡単に自分だけのスノードームを作ってみませんか？
場所：link café
日時：12月17日(土)
午前10時半から正午
参加費：500円
- ①②の申し込みについて
申し込みは会館カフェ店頭またはお電話にて承ります。

フェアトレードと地産品 こだわりの店
link café(リンクカフェ)
TEL : 096-359-4992
E-mail : linkcafe@kumamoto-if.or.jp

未来のために

ここでは、私たちの未来を考える上でとても重要な視点である共に生きる社会、多文化共生について専門家である羽賀友信さんにシリーズでご寄稿いただいています。



筆者：羽賀 友信さん

- ・長岡市国際交流センター「地球広場」センター長
- ・新潟 NGO ネットワーク顧問
- ・JICA 地球ひろば 国際協力サポーター
- ・長岡市教育委員
- ・JICA 専門家
- ※当事業団多文化共生アドバイザー

減災から復興へ～熊本大地震からの学び～

4月14日、16日に熊本を襲った最大震度7の2回の大地震とその後の多数の余震は、活断層が急激に動いた直下型地震で、被害の大きさに日本中が震撼しました。熊本に地震が来ることは想定していなかった市民が多く、行政も台風災害は経験が多くても、地震に対しては事前準備が不足していました。

〔 また、今年は強風と大雨をもたらす大型台風が例年と違ったコースをとり、北海道にも大きな被害をもたらしました。 〕

◆減災の視点から

災害は2種類に大別して考える必要があります。一つは突然襲ってくる地震に対する備え、もう一つは事前に想定可能な台風による大雨、洪水、強風への備えです。

○タイムライン

タイムラインとは災害時の事前情報の筋道のことです。地震では事前に出されるのは「緊急地震速報」のみで、急に災害が起こります。対応策としては事前にどれだけ自助、共助、公助の連携システムを構築できるかにかかってきます。

一方、台風では最初に「避難準備情報」が出され、お年寄りや体の不自由な人等、避難が遅れがちな人々に早めの避難を促すことができます。続いて「避難勧告」、「避難指示」と強制力が高まりますが、特に夜間、大雨と洪水が起きてからでは指示が出されても動けません。いつ出すかタイミングが非常に重要になります。

○行政のシステム理解

災害時の行政の動きを民間も日頃から熟知しておかないと連携がとれません。多言語支援センターも原稿を作るに際し、どこから確実な情報をとるかが重要になります。その上で行政にできること、行政の限界を知り、民がどう連携できるかを事前に協議し、対応策を具体的にしておくことが大変重要です。

○避難所運営

避難所運営にあたっては、外国人支援という視点を一般の支援者は持っていません。日頃の活動で課題の共有を行った上で対策をとともに考えておくことが大変重要です。大規模災害では日本人も外国人も分けて支援することができます。外国人が支援者になる仕組みができるような日頃の活動が重要です。

○民と官と社会福祉協議会（社協）連携

ボランティアセンターは、発災時に市と社協が協議して立ち上げます。そこに専門性の高いNPOやグループが連携しなければ公益性、公平性が優先される官は限界が生じ、専門性の低いボランティアだけでは要援護の被災者に十分な支援が行われません。この民の専門性と自由度をうまく活用するためには、日頃から関係団体の連携会議が実施されないと難しくなります。

○多言語支援センター運営

今回は国際交流会館で避難所と多言語支援センターの2つのシステムが機能しました。またその運営にはコムス

タカ～外国人とともに生きる会～と外国人被害者がボランティアとして関わってくれました。民力が大いに発揮されたケースです。多言語支援センターには他地域から多くのボランティアが九州地区の地域国際化協会や多文化共生マネージャー全国協議会を通じて派遣されてきました。2つの事業を同時に運営するのは財団の職員だけでは手に負えませんが、ボランティアのサポートにより機能しました。

◆復興へ

「復旧」は行政主体でインフラを元の状態に戻すことが主です。「復興」は起きてしまったことをチャンスに変える民主体の活動です。復興に際しては「ゴールは何か」をよく考える必要があります。それは「生活の再建」です。この目標を支援者間で共有していかなければなりません。特に仮設に入居すると、孤立したり連絡が取れなくなった「見えない被災者」となるケースが多々あります。孤立させないために官民連携が重要になります。

○復興会議

復興のプロセスで最も重要になるのは、行政が先行して計画をつくり、それを住民が押しつけられたと感じないシステムの構築です。住民自身が協議をし、どう地域を復活するかという未来ビジョンをしっかりと話し合い、そのビジョンを行政に届けることが重要なのです。ただし二者で直接交渉するとぶつかるケースが多いので、第三局のNPOや中間支援組織が間に入りコーディネートする必要があります。住民だけで話してもなかなか話は終息しません。中越、東北のケースでは復興支援員の制度が活用されました。単なる行政に対する愚痴ではなく、政策提言となるかどうかその後の復興を左右します。

○生活再建

最も重要なのは心のケアです。心が折れたままでは何もできません。専門家によるケアを行いながら、罹災証明手続きをはじめとする支援の活用の手助けが重要になります。また罹災により夫婦間が悪化しDV等に発展すると子どもに大きな影響を与えるため、そのサポートも重要です。安心を与えることが支援の柱につながります。

心のケアの次に大切なのは就労支援です。特に職場の倒産等により解雇された場合は、大きな絶望感のため前に踏み出すことが非常に困難になります。官民で連携して個々のサポートをスムーズに行うことが非常に重要です。そのためには専門性の高い相談業務を行うことができるスタッフの存在が必須です。

○最後に

全国の支援者や組織と連携し地域の誇りを取り戻すとともに、それを活用して全国発信しながら長期の活動を行うことが必要となります。頑張り過ぎた人が何年かたって一息ついたときに燃え尽き症候群でうつ病になるケースも多々あります。日頃から「あなたはこここのコミュニティの一員であり一人ではない」「困ったら誰かに相談してね」という地域づくりが重要です。



世界を知る ～It know the world～

このページでは、「世界を知る」をテーマに独立行政法人国際協力機構(JICA)デスク熊本や、国際交流・協力分野で活躍している皆様のご協力を得て、日本で生活する私たちには日常知ることができない興味深い世界の状況を紹介します。

「環境に変化を求めて」

青年海外協力隊OG 西井 千恵 さん

(平成 26 年 7 月 ～ 平成 28 年 7 月 ブルキナファソ派遣 職種：幼児教育)

生まれも育ちも熊本の実家暮らしで社会人生活も 5 年目に突入したある日、今までの慣れた生活に変化が欲しくなり、青年海外協力隊に応募をしました。

新しい環境となった場所が西アフリカにあるブルキナファソという国。慣れた日常に変化を求めたものの、初めての海外生活がまったく未知の国で不安でした。さらに、停電・断水は当たり前、医療も充実しているとは言えず、私のいた 2 年間で市民蜂起・クーデター・テロもありました。これだけでも日本にはない経験ですが、ブルキナファソで出会った素敵な愛しい人々との出会いのおかげで、改めて思った『私の今後の人生で大切にしたい事』が 3 つあります。

① 『仕事の向き合い方』

私は幼児教育隊員として現地の幼稚園の先生や研修生を対象に、大切にしてほしい子どもとの関わり方や子ども達が楽しみながら学べる保育内容などを伝える活動をしていました。伝える側になり日本での 5 年間の保育士経験を振り返ると、人間形成にとって重要な時期といわれている就学前の子ども達と関わる保育者の仕事の重要性を感じ、保育の現場はどの国でも大変とはいえ、子ども達と楽しみながら活動ができるこの仕事が私は好きなのだと思い直しました。



現地での活動の様子

② 『毎日を大切にす』

ブルキナファソにいた 2 年間で 2 人の知人が病気で亡くなりました。日本と違い十分な治療を受けられなかったり、事故も多い環境でもありますが、ついこないだ「チエ!元気か?」と笑顔で声をかけて

くれた人がいなくなってしまう現実にショックを受けました。いつ、何があるかわからないのが人生と言いますが、色々な出会いに感謝し、私自身も毎日を大切にしなければと思いました。

③ 『力を抜く大切さ』

ブルキナファソの人々は困難や問題があってもよく「Ça va aller サバアレ(上手くいくよ)」という言葉を使います。ブルキナファソに赴任した当初、ブルキナファソ人に頼んだことがなかなか終わらず、計画通りに物事が進まず不安がっている私に彼らは「サバアレ」と言いました。初めは「サバアレじゃない!!」と思っていましたが、時間が経つにつれパタパタしていた心が少し落ち着いたような気もしました。しなければいけない事、求められる物事が多い日本社会で時々この言葉を思い出すと肩の力が下り、力を抜きながら考え、行動できるようになりました。やらなきゃ!と思うほどに力が入ってしまう私に必要な言葉だったのかもしれない。



現地の子供たちと

私がブルキナファソを第 2 の故郷と思えるのは、環境を変えたからこそ出来たたくさんの経験があったからだと思います。自分の環境に変化を求めるには勇気がいる事かもしれませんが、きっと何かしらの新しい気付きがあり、それまでにない自分にさせてくれるのだと思います。



最終報告会で

ちょっと Japanese Tip
日本語

NPO 法人日本語サポートあさ
代表 小川 ひろみ さん

じっかい? じゅっかい? 九州弁?

海外で日本語を教えていると日本各地出身の見学者を教室に迎えることがあります。そんな時、私が教えているところを見学されて九州出身だとわかると「九州弁ですか」といわれるのが「十」の読み方。先日も関東出身の方から「十時十分」について聞かれました。「十時」は「ジュウジ」ですが「十分・十階・十本」は「じっぶん・じっかい・じっぼん」と日本語の教科書にも書かれ九州弁ではありません。怪訝そうな顔をされますが、「文化庁 国語施策情報 常用漢字表の音訓索引」で検索すると「ジッ 十回 ジュッカイトモ」とあり「ジッカイトモ」のほうが本来の読み方のようです。とはいうものの、実生活では「十分 ジュッポン」「十回 ジュッカイトモ」もよく聞きます。そのうち日本語の教科書は日本語のガラパゴス、または伝統的生調日本語は日本語学習者に聞くとわかるということに?

きふブロ インターンシップ生、サポートセンターボランティアの皆さんが賑々KJFのアクティビティ

インターネットでもっとたくさん紹介しています。
<http://blog.goo.ne.jp/kifblo>

こんにちは!

9月から国際交流会館でインターンシップをしている中村です。

先日、留学生と話そうサロン～インド編～が行われました。熊本大学の留学生サントシニさんが、インドの歴史・文化・音楽・食べ物についてお話をしてくださいました!

インドは5,000年の歴史を持つ国。人口は13億人で、世界で第2位だそうです。また、多宗教であり、民俗衣装も多様です。様々な民族衣装を紹介いただきましたが、どれも綺麗でした。

食は、殆どがベジタリアン! 日本のお箸ではなく、手で食べるそうです。また、南の方では、バナナの葉をお皿にして食べるそうです。

質問コーナーではたくさんの質問が飛び交い、とても充実したサロンになりました。

今回は英語でのサロンでしたが、大学コンソーシアム熊本のコーディネーター宮崎さんが通訳をしてくださったので、英語が苦手な私でも楽しく参加することができました。



☆平成28年度賛助会員募集! ☆

一般財団法人熊本市国際交流振興事業団では賛助会員を募集しています。当事業団の活動にご理解とご支援をいただくと共に、さらなる国際交流や国際協力の輪が広がることを願っています。

会員の方々には、事業団の機関誌『ニュースレターくまもと』の送付や様々な情報の提供をさせていただきます。また、当事業団主催講座の受講料会員割引や、国際交流会館駐車場の割引等の特典があります。

- ①個人会員 一口 2,000 円/年(一口以上)
- ②団体会員 一口 10,000 円/年(一口以上)

平成 29 年 3 月までの会員期間となります。

<入会のお申し込み・お問い合わせ>

一般財団法人 熊本市国際交流振興事業団事務局
〒860-0806 熊本市中央区花畑町 4-18 熊本市国際交流会館
TEL:096-359-2020 FAX:096-359-5783
E-mail:ad-info@kumamoto-if.or.jp

継続・新規ご加入 ありがとうございます。(平成 28 年 9 月 30 日までにご加入いただいた皆様)

〔団体〕

・有限会社植翠園

〔個人〕50 音順(敬称略)

- ・岩崎 淳一
- ・竹下 真治
- ・松倉 裕二
- ・守川 照光
- ・下山 敦史
- ・橋村 俊也
- ・松村 伴子
- ・田上 小百合
- ・松岡 郁子
- ・松本富士男



- 阿蘇くまもと空港より 車で 45 分
- 熊本交通センターより 徒歩 3 分
- 熊本市電停花畑町より 徒歩 3 分

from Aso-Kumamoto Airport-
45minutes by car
from Kotsu Center-3minutes walk
from "Hanabata-cho"
tram stop-3minutes walk

熊本市国際交流会館 国際交流サポートセンター

開館時間 午前 9 時～午後 8 時
多文化共生オフィス TEL:096-359-4995 (直通)
休館日 第 2・第 4 月曜日、年末年始(12 月 29 日～1 月 3 日)
Civic Support Center for International Exchange and Cooperation
Kumamoto City International Center
Service Hours 9:00a.m.-8:00p.m.
Multicultural affairs office Phone:096-359-4995(Dial-in)
Closed: 2nd and 4th Mondays of each month, Dec. 29th-Jan. 3rd

★平成 27 年 10 月 1 日より交通センター付近は MICE 建設工事中です。シンボルロードが臨時バスターミナルとなっています。